

講義名	統計的方法論研究			授業形態	
担当教員	羽藤 雅彦	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

本講義では、統計的手法を用いた研究をおこなう際に必要になる数値的データの取り扱い方を修得します。具体的には、消費者行動に関する数値的データの処理について、R (RStudio) とエクセルを使用し、実習形式で説明をしていきます。

到達目標

この講義では次の4つの目標を設定します。
 (1)統計パッケージの基本的な操作ができる
 (2)基本統計量の計算ができる
 (3)仮説検定の方法が理解できる
 (4)多変量解析の概要が理解できる

提出課題

毎回提出してもらう課題と最終レポートがあります

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

その都度コメントします

評価の基準

課題提出 70%
 最終レポート 30%
 PC実習で積み上げ型の講義です。遅刻や欠席はしないでください。

履修にあたっての注意・助言他

数学の知識は、中学生レベルで十分理解できます

教科書

.なし.

参考図書

その他

随時指示します。

授業計画

- オリエンテーション
- データの入力、R (RStudio) とエクセルの基本操作
- アンケートの取り方
- 基本統計量
- t検定
- 分散分析
- クロス表
- 相関分析
- 回帰分析 (1)
- 回帰分析 (2)
- 因子分析 (1)
- 因子分析 (2)
- 尺連の調べ方
- 分析練習 (1)
- 分析練習 (2)

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業中に習った操作方法を試してみることをお勧めします

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

大学院のDPに「理論的・実証的な課題を研究するために必要な科学的方法論を身につけていること」とあります。本講義は、修士論文を作成する過程においてアンケート調査により得られた定量的なデータを統計的な方法により解析する手法を習得します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

パソコンを利用した講義です。積極的な発言を求めます。

実務経験の有無及び活用

備考
